

# 第3回大阪府障害者福祉事業団 障がい福祉セミナー

社会福祉法人 大阪府障害者福祉事業団  
〒584-0000 大阪府富田林市大字甘南備 216 番地

## 助成事業の概要

### ■目的

当事業団は「ともに生きる心を育み ともに歩む社会の実現」の理念のもと、障がいの理解・啓発と地域共生社会の実現に努めてまいりました。第3回となる今回は「豊かな地域生活のために」をテーマに、みなさまとともに学びともに考える機会とし、地域共生社会の実現につなげることを目的とし開催しました。

### ■主催

社会福祉法人 大阪府障害者福祉事業団

### ■日時

平成29年12月3日（日）12時30分～16時50分

### ■会場

ホテルコスモスクエア国際交流センター 講堂

### ■内容

**基調講演**「『我が事・丸ごと』地域共生社会の実現に向けて」

講師 / 東大阪大学 こども学部こども学科  
准教授 潮谷 光人（こうじん）氏

**実践報告**「当事業団における取り組み（3報告）」

報告1「地域における行動障がいのある利用者への支援 ～家族を救え～」

発表者 / 地域生活総合支援センターいま

支援員 久保田 曜（よう）行（こう）

支援員 下馬 雅之

報告2「終末期のグループホーム利用者の支援」

発表者 / 地域生活総合支援センターきらら

支援員 牧野 英史

報告3「高齢知的障がい者の療養の場、終末期を過ごす場の充実を目指して」

発表者 / すくよか 看護長 山田千晶

### ■主な対象

障がい福祉関係者、医療・教育・行政関係者、ご家族、学生その他関心のある方（どなたでも参加可能）

### ■定員

346名（先着順）

### ■参加費

無料

### ■後援

大阪府

大阪府市長会

大阪府町村長会

社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会

社会福祉法人 大阪手をつなぐ育成会

一般社団法人 大阪知的障害者福祉協会

## 事業の成果

今年で第3回を迎えた当事業団の障がい福祉セミナーの参加人数は245名にのぼり、うち180名の方からアンケートにご協力いただきました。

参加者の多くは福祉業務に携わる方であり80%を占め、うち半数以上が福祉現場の職員でした。

また、福祉業務に携わる方のみならず、行政・教育・医療機関の職員、学生、さらには福祉サービスの利用者・ご家族の方にもお越しいただきました。

当事業団の実践報告に興味を持って参加された方が多く、アンケートでも、複数選択可能とした項目のうち半数の方が参加のきっかけになったこととして回答されました。

アンケートにおける「セミナーで良かった点」でも「実践報告」を挙げる方が最も多く、参加理由と同じく複数選択可能とした項目のうち半数以上を占めており、実践報告③「高齢知的障がい者の療養の場、終末期を過ごす場の充実を目指して」については109名、実践報告②「終末期のグループホーム利用者の支援」については105名、実践報告①「地域における行動障がいのある利用者への支援 ～家族を救え～」については92名の方からご好評をいただきました。

基調講演についてもご好評いただき「勉強になりました」等の感想が多く寄せられました。セミナー全体に対しては「考える良い機会となりました」「色々と考えさせられました」との感想が多く寄せられ「みなさまとともに学びともに考える機会とし、地域共生社会の実現につなげること」として開催した今回のセミナーの目的は達成できたと感じられます。

「豊かな地域生活のために」と題した今回のセミナーテーマは、主に福祉現場の職員の興味をとらえ好評を博しました。中でも当事業団のすべて

の実践報告の評価が高く、実践報告内容にある「社会資源の活用」「障がい者の高齢化」「医療機関との連携」は参加者の多くが普段から課題に感じられていることが読み取れました。

今回のセミナーは、当事業団の理念である「ともに生きる心を育み ともに歩む社会の実現」の一助となったのではないかと考えます。

## 成果の広報・公表

当事業団ホームページにおいて、第1回・第2回セミナーと併せて当日配布資料等を掲載し、広く周知しています。法人内においては、職員専用Webサイト上に実施報告書等による周知・報告を行います。また、セミナーの録画映像をDVDにし、研修等に活用します。

## 今後の展開

今年で第3回となる当事業団のセミナーは、初めて助成金を頂くこととなりました。そのことによって、以前までのセミナーよりも大きな規模で開催することができ、より多くの方々にとって実りあるセミナーとなりました。

また、当事業団にとっても改めて多くの方々にとって当事業団や理念、日々の活動を知って頂く機会とすることができました。

今後も、社会のニーズや想いを捉えながら、セミナーという形にとらわれず、当事業団の理念である「ともに生きる心を育み ともに歩む社会の実現」に向けた様々な取組みを模索していきます。